



つくばみらい市 議会だより



# みらいのとびら

令和5年2月1日発行 第67号



特集

## Contents

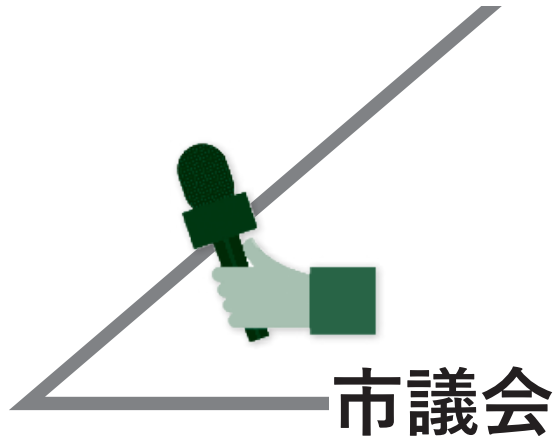
特 集	.....	P 2
一般質問	.....	P 11

# いばらきっ子郷土検定



こやま  
小山先生

## いばらきっ子郷土検定



今回は茨城県独自の検定「いばらきっ子郷土検定」に8年連続つくばみらい市代表として県大会に出場することとなった小絹中学校2年生のみなさんと指導をされた小山先生にお話を伺いました。

**Q 「いばらきっ子郷土検定」の県大会にはどのように出場するのでしょうか。**

**A** まず市内の中学2年生全員が検定を受けて県大会に出場する一番得点の高い中学校を決めます。検定は茨城県や市についての歴史や文化、最近の話題についての総合問題が出題されますが、今日集まった生徒は小絹中学校の成績上位者で選ばれたチームです。80点以上取ると検定2級がとれるのですが、その中でも一番優秀な生徒が集まっています。一

番難しいレベルの90点以上の1級の生徒も一人います。

**Q 小絹中学校は8年連続県大会出場という偉業を達成しましたが、プレッシャーなどありましたか。**

**A** 生徒より職員がプレッシャーを感じていたかもしれません。たくさん問題を渡して、とにかく練習しましょうと発破を掛けていました。最近市内の他の中学校でも検定に力を入れてしていると聞いていますので、今回本校の生徒達は本当に良く頑張ってくれました。

**Q 検定の準備にあたってどのように練習しましたか。何か覚えるコツなどあるのでしょうか。**

**A** 先生からいただいた検定の資料をひたすら覚ええました。

Q 茨城県の歴史や文化などいろいろな

ことを学んだと思いますが、茨城県  
やつくばみらい市の中でお薦めと思  
うところがありますか。

A 茨城県では水戸の偕楽園です。市内  
では鉄火塚や間宮林蔵記念館が印象  
に残りました。

Q 学校の勉強と検定の練習はどちらが  
好きですか。

A 検定かな。茨城県や地元につくばみ  
らい市のことを詳しく知ることがで  
きたので。

Q 茨城県やつくばみらい市のことをい  
ろいろと学んでいく中で、何か大変  
だったところがありましたか。

A 歴史に関連したものなどは覚えるの  
が少し大変でした。あと、歴史だけ  
でなく茨城県の最近のトピックスな

ども問題に出るので、普段から茨城  
県のニュースなども気になるようにな  
りました。



▲ 左から藤井さん  
石塚さん  
五十嵐さん



左から鈴木さん ▶  
花田さん



Q 2月の県大会に向けての意気込みを教えてください。

A 勉強した結果が出せるように頑張ります。県大会本番はチームのみんなと楽しみながら挑戦したいです。

Q 来年検定に挑戦する後輩のみなさんに何かアドバイスはありますか。

A 先生が準備してくれる資料や問題を一生懸命練習すること、楽しみながらチャレンジしてほしいと思います。



県大会は令和5年2月4日土曜日に水戸市ザ・ヒロサワ・シティ会館において開催されます。皆さん頑張ってください。



本日はお忙しい中、取材にご協力いただきましてありがとうございます。

(取材者 小林芳子 守谷智明)



# つくばみらい市の こんなことが決まりました

第4回臨時会 10月6日 (1日間)

第4回定例会 11月25日～12月13日  
(19日間)

## 議案審議

### ●第4回臨時会で審議した案件

市長提出案件

3件

計3件

### ●第4回定例会で審議した案件

市長提出案件

14件

陳情

2件

計16件



## Pick up 1

議案第62号 令和4年度つくばみらい市一般会計補正  
予算(第8号)  
みらい子育て応援特別給付金支給事業  
業などを増額

第4回定例会での一般会計補正予算(第8号)は、歳入歳出とも2億2,405万8,000円を増額するもので、歳出の主なもの、コロナ禍でさらに物価高騰の影響を受けて、家計状況が悪化する中、市独自に子育て世帯の経済的負担を支援する「みらい子育て応援特別給付金支給事業」の経費として、5,143万3,000円を計上しました。

【対象者】 来年度小中学校・高校等に入学する年齢の児童を養育する方

【支給額】 児童一人当たり3万円

【対象児童数】 1,700人(見込み)

【支給時期】 2月以降

(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用予定)  
なお、債務負担行為として、子育て応援住宅(PFI)事業など19件で、総額25億9,259万4千円を設定しています。

### 債務負担行為とは

「債務」とは、経費の支出義務のことです。

「債務負担行為」は、契約等で発生する債務の負担を設定する行為です。

## 令和4年第4回臨時会 議決一覧表

議案番号	議案名	結果
議案第 54 号	つくばみらい市手数料の特例に関する条例	原案可決
議案第 55 号	令和4年度つくばみらい市一般会計補正予算（第6号）	原案可決
議案第 56 号	令和4年度つくばみらい市一般会計補正予算（第7号）	原案可決

## 令和4年第4回定例会 議決一覧表

議案番号	議案名	結果
報告第 17 号	専決処分の報告について（第10号）	報告
報告第 18 号	専決処分の報告について（第11号）	報告
議案第 57 号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	原案可決
議案第 58 号	つくばみらい市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第 59 号	つくばみらい市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	原案可決
議案第 60 号	つくばみらい市医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第 61 号	つくばみらい市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第 62 号	令和4年度つくばみらい市一般会計補正予算（第8号）	原案可決
議案第 63 号	令和4年度つくばみらい市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第 64 号	令和4年度つくばみらい市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決

議案番号	議案名	結果
議案第 65 号	令和 4 年度つくばみらい市介護保険特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決
議案第 66 号	令和 4 年度つくばみらい市水道事業会計補正予算（第 2 号）	原案可決
議案第 67 号	令和 4 年度つくばみらい市下水道事業会計補正予算（第 2 号）	原案可決
議案第 68 号	令和 4 年度つくばみらい市一般会計補正予算（第 9 号）	原案可決

番号	陳情名	結果
陳情第 6 号	令和 5 年度 理科教育設備整備費等補助金予算計上についてのお願い	全議員及び 執行部に配布
陳情第 7 号	マスク差別を禁止する条例の制定に関する陳情	全議員及び 執行部に配布

議会広報特別委員会では、市内小学校高学年の皆さまに、「市議会」をもっと身近に感じていただけるよう、市議会の活動内容を分かりやすくまとめた議会紹介冊子「ようこそ市議会へ」を作成しました。

少しでも「市議会の仕事」や「市議会の進め方」に興味を持っていただければと考えています。

12月8日には、伊藤 正実 つくばみらい市議会議長、議会広報特別委員会 小林 芳子 委員長、守谷 智明 副委員長が、町田 幸子 教育長に対し、議会紹介冊子「ようこそ市議会へ」を贈呈しました。

#### 【配布物】

議会紹介冊子「ようこそ市議会へ」

#### 【対象者】

市内小学校 5年生及び6年生

右から 町田 幸子 教育長、伊藤 正実 議長  
小林 芳子 議会広報特別委員長  
守谷 智明 議会広報特別副委員長



# 特定所管事務調査報告

所管事務調査とは、委員会が自主的にその委員会が所管する事務について行う調査です。

地方自治法は常任委員会の役割について「その部門に属する当該普通公共団体の事務に関する調査を行い、議案、請願等を審査する」と規定されています。

常任委員会の発議により、市政の各分野における課題の解決に向けて、調査を行い、市長等の執行機関に対し具体的な政策や施策を積極的に提言するものです。

※特定所管事務調査とは所管事務調査の案件を特定し、一年を通して調査研究するものです。

最終報告では、分かったことと今後の提言を示すものです。

## ■ 特定所管事務調査の主な流れ

- ①令和4年3月定例会で特定所管事務調査の案件を決定
- ②案件の調査研究（執行部からの報告、市内視察、県内外視察）
- ③委員間で討議
- ④報告書のとりまとめ
- ⑤令和4年12月定例会において報告



## 総務 常任委員会

総務常任委員会では、特定所管事務調査として「消防団の在り方について」調査を行い、11月25日の定例会本会議において最終報告がありました。報告では、次のとおり提言されています。

### 【提言内容】

- 1 市は消防団の勧誘活動をサポートするとともに、市独自でも積極的に勧誘活動を行うこと。
- 2 基本消防団員の確保と意識高揚のために、「(仮称)消防団員証」の発行を行い、提示による様々なサービスで、団員とその家族等を応援する制度を策定すること。
- 3 少子高齢化の状況を踏まえて、本市に機能別消防団員募集確保のため、消防団条例の制定をすること。
- 4 本市ハザードマップによると浸水想定区域があることから、消防団本部と分団に救助用ボートを配備すること。  
積極的に調査研究し速やかに実施すること。



市内での視察風景

最終報告書の詳細は、市ホームページの「つくばみらい市議会」をご覧ください。





## 教育民生 常任委員会

教育民生常任委員会では、特定所管事務調査として「地域とともにある学校づくりについて」調査を行い、11月25日の定例会本会議において最終報告がありました。報告では、次のとおり提言されています。

### 【提言内容】

市内全市立小中学校へのコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の早期導入を検討すること。

- 1 準備期間を設けて推進室等を設置し、学校やコーディネーターの負担が増えることのないよう具体的な体制の構築を十分に行うこと。
- 2 地域と連携しやすい学校を選定し段階的に導入することとし、地域との連携と相互の信頼関係の構築に努めること。
- 3 多様な学校運営協議会委員の人材発掘に努めること。
- 4 学校と地域をつなぐコーディネーターの育成に努めること。
- 5 地域ボランティアとの連携による道德教育や情操教育等に努めること。



牛久市での視察風景



## 経済 常任委員会

経済常任委員会では、特定所管事務調査として「持続可能な水道事業の在り方について」調査を行い、11月25日の定例会本会議において最終報告がありました。報告では、次のとおり提言されています。

### 【提言内容】

施設、管路の更新は待ったなしの状況である。しかし、水道事業を取り巻く環境は、今後厳しさを増していくことが予想される。

人口減少による料金収入の低下、施設の老朽化などの現状を踏まえると、更新計画に沿って更新事業を進めていくことが前提ではあるが、同時に事業全体の広域化、共同化や指定管理者制度及び民間委託等、民間力の導入などもその導入の可否について検討し、持続可能な経営を確保するための取組が求められる。

県との連携を深めながら、水道事業広域化推進プランの作成なども必要である。施設の共同設置や共同利用等の施設整備などについては、県との話し合いを進めながら、財政措置も同時に検討すべきである。

また、県内市町村は、ほとんどが県水を利用しているため、県の企業局との連携を深め、効率化に向けて、具体的な検討をお願いしたい。

その具体策の一つとして、県南水道と県西水道の原水相互利用に向けて事業が進められていることなどは大いに歓迎すべきことである。

さらに、避難所として指定されている公的施設等への緊急貯水槽の増設なども、ぜひ検討していただきたい。

最後に、地下水の利用についてもコスト計算をきちんと進め、県水利用との費用比較など、具体的数値をもとに分析を進め、地下水と県水の合理的な配分割合など、今後の検討課題の一つとしていただきたい。



市内での視察風景

## 各常任委員会及び議会広報特別委員会において 行政視察を実施しました。

### ■ 総務常任委員会 ■

期 日 令和4年10月31日・11月1日  
視察先 愛媛県松山市、愛媛県大洲市  
出席者 6人  
内 容 「消防団の在り方について」の調査を目的に、松山市では「消防団の活動や機能別消防団の現状、団員確保に対する啓発活動の取組等」について、大洲市では「消防団の活動や団員確保に対する啓発活動、防災対策備品の内容」について視察を行いました。



大洲市での視察風景



岐阜市での視察風景

### ■ 教育民生常任委員会 ■

期 日 令和4年8月4日・5日  
視察先 岐阜県岐阜市、愛知県一宮市  
出席者 7人  
内 容 「地域とともにある学校づくりについて」の調査を目的に、岐阜市及び一宮市で「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）及び地域学校協働活動」について視察を行いました。

### ■ 経済常任委員会 ■

期 日 令和4年8月1日・2日  
視察先 北海道江別市、北海道苫小牧市  
出席者 6人  
内 容 「持続可能な水道事業の在り方について」の調査を目的に、江別市では「水道施設について及び非常時の対策」について、苫小牧市では「水道施設について及び非常時の対策」について視察を行いました。



苫小牧市での視察風景



小林市での視察風景

### ■ 議会広報特別委員会 ■

期 日 令和4年10月17日・18日  
視察先 宮城県小林市、宮城県宮崎市  
出席者 7人  
内 容 「議会広報誌の編集及び記事の選定方法等」についての調査を目的に、小林市及び宮崎市で『広報広聴委員会の活動内容、「議会だより」作成のポイント・工夫している点、表紙や特集記事の選定方法等』について視察を行いました。

# 聴きたい 知りたい 市政

一般質問  
(要旨)

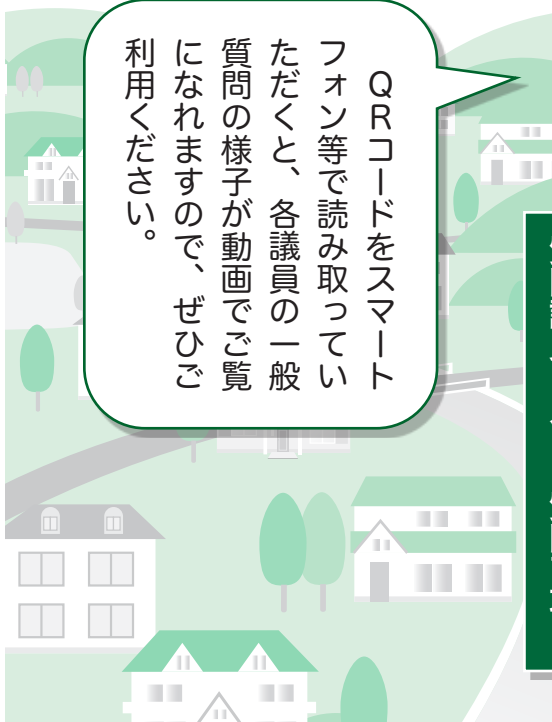
## 一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。今回の一般質問であなたの生活にかかわる内容はありますか？  
質問は、議員本人が概ね200字を目安に要約しています。

質問議員7人

質問15項目

QRコードをスマートフォン等で読み取っていただくと、各議員の一般質問の様子が動画でご覧になれますので、ぜひご利用ください。



## HPVワクチンについて



染谷 礼子

### ●染谷礼子議員

子宮頸がんの原因となるHPV感染の有無を自宅で検査できる簡易検査キットは、自宅で検査をしたものを検査機関に送り感染の有無が判明するものであるが、子宮頸がん検診受診率向上のため、対象者に配布してはどうか。

また、国が令和5年4月以降に定期接種化を予定しているHPV 9価ワクチンは、現在使用されている2価・4価ワクチンより効果が高く、約90%の子宮頸がんを予防できると言われている。9価ワクチンが定期接種化された場合、対象者に積極的に勧奨する必要があると思うが、市の考えを伺う。

### ●保健福祉部長

検査キットについては、調布市などで受診勧奨の一手段として対

象者を限定して導入している状況を確認している。市としては、検査キット導入により子宮頸がん検診の受診率向上が期待できるかどうかについて調査研究し、成果が見込まれるものと判断できれば、導入を前向きに検討していく。

また、9価ワクチンについては、国の動きを踏まえ、今後、国が決定した方針に基づき対応していきたいと考えている。その際、国で作成が予定されている9価ワクチン導入に伴う新たなリーフレットも、対象者への周知に活用していく。最終的な決定内容において周知が必要な情報は、積極的な周知に努めていく。

### (掲載以外の質問事項)

☆通園バス置き去り防止について



## 児童・生徒への訪問型家庭教育 支援への取組について



中村 豊

### ●中村豊議員

茨城県内で2021年度に30日以上欠席した不登校児童・生徒数は、6411人で、前年度より

40・8%増えて過去最高だった。

全国平均の24・9%よりも高い水準だった。その対策として、県内

では、訪問型家庭教育支援が有効であるとの報道もある。本市の実

態を伺うとともに、その対策について伺う。また、本市の適応支援

教室を充実し、訪問型家庭教育支援を本市でも導入すべきと考える

が、市の考えを伺う。

### ●教育部長

本市の不登校児童生徒数は年々増加傾向にあり、今年度9月末現在で小学校45人、中学校54人であるが、個々の状況やニーズに合った支援を行う等の対応をしている。また適応支援教室「なのはな」では、

学校や保護者からの要望に応じ不登校児童生徒への支援を行っている。

### ●教育長

不登校児童生徒に対し適切に支援するため「なのはな」の機能を

更に充実させることが大切である。現在、学習支援や教育相談を中心

に行っているが、様々な困難を抱える子どもたちに対応していける

よう、総合型の教育支援センターとして拡充していきたい。

訪問型家庭教育支援は、困難を抱えた家庭や子どもたちを見守り、

支える仕組みとして大変重要であるので、事業実施に向け充実を図

っていく。

(掲載以外の質問事項)

☆児童・生徒使用の学習用デジタル教科書の導入について

☆児童・生徒使用の学習用デジタル教科書の導入について



## 医療的ケア児への対応について



小林 芳子

### ●小林芳子議員

医療的ケア児支援法が施行され、医療的ケア児の支援について保育

所や学校等の設置者の責務が明確化された。受け入れに当たり、日

頃から医療・福祉をはじめとした各関係機関との連携が必要不可欠

であると考え。本市では、連携会議や支援協議会等で情報共有を

行うなど、支援体制は整えられているのか。入園、入学を希望する

方への対応や、在校児童への対応について伺う。

### ●保健福祉部長

「医療的ケア児等コーディネーター」の養成研修を受講した市職員等が中心となり、関係者が令和

3年9月から3カ月に1回集まり、在宅生活での支援方法等について

話し合いを進めている。

本年度からは、医療機関から市

に連絡があった際に、医療的ケア児の情報共有を図るため、医療機

関または自宅への訪問を開始しており、令和5年度には支援協議会

を設置する計画である。

小学校就学を希望する場合、関係機関との連携強化による情報共

有、意見交換を行い、本人及び保護者等との早からの相談や適切な

支援を進めていきたい。

在籍中の医療的ケア児の支援に

ついて、保護者、学校、教育委員会、関係機関等が連携しながら

適切に対応していく。

(掲載以外の質問事項)

☆災害時の避難所や家庭での電源事情について

☆災害時の避難所や家庭での電源事情について



## ごみの分別収集に対して、市民の協力を更にするための方法について



間宮 美知子

### ●間宮美知子議員

ごみの全体量を減らし、燃やすことによって排出されるCO2を減らすために、常総環境センターでは生ごみの堆肥化事業を行っているが、木材チップの堆肥化や生分解性ごみ袋による堆肥づくりなども検討する必要があるのではないか。また、雑紙をできるだけサイクルに回すことができれば、ごみの減量化や森林の伐採を減らすことにつながるが、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の取組について、市の考えを伺う。

### ●市民経済部長

3Rへの取組は、ごみ処理費用の削減の他、環境負荷の低減にも繋がり、持続可能な社会を形成する上で重要である。

本市の取組として、市内で発生

するごみは、5種類16品目に分別しており、市民がごみを分別して排出することがリサイクルの基本であり最も重要と考えている。その他、集積所に排出された資源物が抜き取られずに、適正にリサイクルできるようパトロールを行う他、広報紙に3Rに関する記事の掲載や転入者へごみ分別の手引きを配布し、適正な分別によるリサイクルの推進を行っている。引き続き、3R推進のため、市民に周知啓発を行う。

新たな取組については、議員のご提案も含め検討し、3Rを一層進めるための取組を実施していく。

(掲載以外の質問事項)

☆旧統一教会の活動に監視の目を



## 火災予防対策について



鐘ヶ江 礼生奈

### ●鐘ヶ江礼生奈議員

本市の火災予防の取組や市民への周知について伺う。住宅火災死者の約7割が高齢者である。住宅用火災警報器設置の義務化後16年が経過したが、警報器取替時期は最長十年であり、改めて高齢者世帯への警報器設置の周知や補助制度を設けるなど、設置促進に取り組んでは如何か。また、住宅整備環境に伴った消防水利位置の見直しや、破損等が無いよう消火栓ホースの点検整備について見解を伺う。

### ●総務部長

火災予防パレードの他、消防団による夜間警戒等を行っており、これらを広報紙等で周知し火災予防に関する意識啓発を行っている。今後も市民の貴重な生命や財産を

守るため、関係機関と協力して火災予防に取り組む。

火災警報器設置促進について、市広報紙の他、防災アプリの活用等、様々な手法で普及啓発に努める。補助金制度については、他の自治体事例等も参考にしながら調査研究をする。

消防本部では3年ごとに消防水利を含む消防施設の状況を確認するため、消防施設整備計画実態調査を、消火栓ホース等の点検は消防署と消防団でそれぞれ年1回実施している。今後は、いざというときに消火栓ホース等の性能が十分に発揮できるよう点検マニュアルを作成し、対応を強化する。

(掲載以外の質問事項)

☆火災発生時の対応について



## アピアランスケア支援について



岡本 昌弘

### ●岡本昌弘議員

がん患者の皆さまの就労や社会参加を応援し、療養生活の質がよい良いものになるよう、医療用ウィッグ購入費助成だけではなく、補助対象を拡大し乳房補整具、皮膚変色をカバーする化粧品、爪の変化に対応するマニキュア、人工乳房及びこれらを固定する下着、指の欠損を補う物、眉毛シール等についても、購入経費の一部を助成事業に加えるべきと考え、市の考えを伺う。

### ●保健福祉部長

アピアランスケアについて、本市は県に先駆け、平成29年度から医療用ウィッグ購入費を助成している。また、現在、県内で独自に取り組んでいる市町村は、本市の他4市であり、本市はアピアランスケアに積極的な姿勢をとっている。

る。

助成対象用品の追加については、がんを患った市民に対し、社会参加や生活の質の向上の更なる一助となるよう、令和5年度から実施する方向であり、対象用品は、分類ごとに一人1回を基本とし、乳房補整具のほかケア用品等も視野に入れると共に、今後新たに支援用品となりうる物も対象に追加するよう検討する。併せて、レンタル費用も助成対象に含めることを検討し、柔軟な対応ができるよう事業拡充に向けて準備していく。

(掲載以外の質問事項)

☆想定浸水深表示板設置について



## 学校給食の無償化・オーガニック(有機食材)給食について



古川 よし枝

### ●古川よし枝議員

全国では物価高騰等で給食費無料化や減額措置が行われている。同時に「義務教育は無償」を根拠に完全無償化に踏み切る自治体も急増し、令和3年度の調査による

と県内では大子・城里・神栖・河内町が、今年度潮来市が無償化を実施した。一部公費負担は37市町村が実施し、多子世帯への支援が最も多い。無償化へ取組を求めているかどうか。

同時に、国のみどりの食料システム戦略を活かし、オーガニック給食への転換を進めてはどうか。

### ●市長

今年度の給食食材費として約2億6000万円の財源が必要になる。その分を一般財源に求めると、今すぐ給食費の完全無償化は難しいと考える。

しかし、全ての子供たちにかか

るお金は、親の所得に関係なく無償であることが私が理想である。現実と乖離があるが、諦めずに理想を追求していきたい。

### ●教育部長

有機食材の使用は、児童生徒に安全安心な給食を提供する観点から価値あることである。しかし有機栽培に取り組む生産者が少なく、有機食材の種類や量を安定的に確保することが難しいため、有機農業に取り組む生産者の育成等を進めるとともに、有機食材の提供が常にできるような仕組みが必要となる。

今後、農政部門と連携し有機食材の使用を増やしていきたい。

(掲載以外の質問事項)

☆介護保険改定の論点について

☆加齢による難聴者への補聴器

購入費の市補助制度の創設に

ついて

## 首都圏新都市鉄道株式会社に

### 要望書を提出しました

10月13日、つくばみらい市、守谷市及びつくば市の三市で組織した、つくばエクスプレス三市議会推進協議会（会長 伊藤正実つくばみらい市議会議長）では、首都圏新都市鉄道株式会社 柚木浩一代表取締役社長に対し、「つくばエクスプレスの通学定期乗車券運賃の引下げに関する要望書」を手渡し、要望活動を行いました。

子育て世帯の経済的負担を軽減するために、通学定期乗車券運賃の引下げの実現に向けた取り組みを要望しました。



左から、柚木浩一 首都圏新都市鉄道株式会社 代表取締役社長、伊藤正実 会長

## 市議会議員研修会開催

令和4年11月8日（火）、つくばみらい市議会では、議会全体の資質・機能向上を図ることを目的に、市議会議員研修会を谷和原庁舎3階議場において開催しました。

研修会の講師には、大阪府泉佐野市長 千代松 大耕氏を講師としてお迎えし、「型破りの自治体経営―泉佐野市―」をテーマに「議会を経験した市長として」と題して、ご講演をいただきました。



## 令和5年 第1回定例会

日	月	火	水	木	金	土
2/26	27	28	3/1	2	3	4
	本会議 (開会)	休会	本会議(一般質問) 総合計画調査 特別委員会			休会
5	6	7	8	9	10	11
休会	補正予算 特別委員会	総務常任 委員会	教育民生 常任委員会	経済常任 委員会	予算特別 委員会	休会
12	13	14	15	16	17	18
休会	休会	予算特別 委員会	予算特別 委員会	休会	休会	休会
19	20	21	22	23	24	25
休会	本会議 (閉会)					

※日程等については、変更になる場合があります。なお、会期日程は、議会運営委員会（通常は開会日の7日前に開催）で協議され、定例会初日の本会議で決定されますので、事前に議会事務局までお問い合わせください。

### ご意見ご感想をお寄せください！

「議会だより」についてのご意見・ご感想をお寄せください。今後の本誌編集の参考にさせていただきます。また、議会についてのご意見等ありましたら併せてお聞かせください。



つくばみらい市  
イメージキャラクター  
「みらいりんぞう」

### ◆ 本会議ライブ配信・録画配信 ◆

本会議の様様をインターネットを通して、ご自宅・外出先等からYouTubeのライブ映像をご視聴できます。

また、つくばみらい市議会では、「市民に身近な、開かれた議会」を目指し、ホームページより録画の配信を行っています。それぞれの映像の掲載期間は1年となります。どうぞ、ご覧ください。



### ◆ 議会TV放映中 ◆

議会開会中、伊奈庁舎、谷和原庁舎及びみらい平市民センターのロビーに設置してあるテレビで、本会議の様子を生中継しています。どうぞ、ご視聴ください。

### ◆ 会議録の公開について ◆

会議の会議録は、市ホームページ、市立図書館、議会事務局でご覧いただけます。なお、最新の会議録の公開開始は、各定例会終了から概ね3か月後となります。



### ◆ 音声による議会だより ◆

ホームページでは音声による議会だよりの配信を行っています。音声は、ボランティア団体『朗読グループかたくり』のご協力で作成しています。

また、社会福祉協議会を窓口にも目の不自由な方々を対象に、無料でCDの貸し出しをしています。ぜひ、お聴きください。



### ◆ 市議会の傍聴について ◆

議会は、特別な場合を除き、だれでも傍聴することができます。

傍聴は、先着順で受付票に住所、氏名、年齢を記入していただくことで、傍聴席に入場できますが、現在のコロナ禍により、傍聴席の間隔をあけておりますので、席に限りがございます。

また、感染症予防対策にご協力ください。

- 第4回臨時会 傍聴者数 1人
- 第4回定例会 傍聴者数 7人

傍聴者の守るべき事項があります。  
詳細は議会事務局にお問い合わせ願います。

### ● 新型コロナウイルス感染症対策 ● のお願い

本会議・委員会を傍聴される際には、感染症の拡大防止のため、次のとおりご協力をお願いします。

1. マスクを着用してください。  
(マスクはご自身でご用意願います。)
2. 傍聴席の出入口にある消毒液で手指を消毒してください。
3. 当日の朝に検温し、高熱のある場合や、体調不良(だるい・咳が出るなど)の場合は傍聴を自粛願います。



発行：つくばみらい市議会 編集：議会広報特別委員会

〒300-2492 つくばみらい市加藤237番地 TEL：0297-58-2111(代表) FAX：0297-20-5760  
URL：https://www.city.tsukubamirai.lg.jp E-mail：gikai01@city.tsukubamirai.lg.jp